

猿沢地域まちづくり通信

第2号

平成23年12月 1日発行

第1回 準備会

「猿沢地域まちづくり協議会設立準備会」がスタート!



第1回まちづくり準備会の様子
(10月7日)

10月7日(金)、村上市総合文化会館にて「第1回猿沢地域まちづくり協議会設立準備会」を開催しました。

この準備会は、猿沢地域にまちづくり組織を設立するため、各集落から集まった委員34名で構成されます。

会議では、準備会の規約、今後のスケジュールを決定した後、委員の中から役員9名が選出され、会長には佐藤和衛さん(鵜渡路)が選任されました。

現在は、月1~2回程度の懇談会を開催しており、来年4月の協議会設立を目指します。

わたしたちが 準備委員です!

- 会長 佐藤和衛(鵜渡路)
- 副会長 渡邊正男(板屋越)
- 幹事 鈴木芳太郎(猿沢)
- 齋藤成男(寺尾)
- 齋藤忠夫(上野)
- 大滝信市(宮ノ下)
- 大田勝弘(桧原)
- 川村勇(川端)
- 渡邊正夫(下中島)
- 齋藤恵子(寺尾)
- 板垣淳一(寺尾)
- 大滝正司(宮ノ下)
- 石田昭也(宮ノ下)
- 石田光和(宮ノ下)
- 高橋実(下中島)
- 横山充彦(下中島)
- 藤春樹(鵜渡路)
- 佐藤利子(鵜渡路)
- 佐藤弥(鵜渡路)
- 齋藤仁(上野)
- 遠山つや子(上野)
- 川村タケイ(川端)
- 佐藤久子(川端)
- 齋藤一衛(猿沢)
- 小田三栄(猿沢)
- 高橋美晴(猿沢)
- 高橋明子(猿沢)
- 太田與平(桧原)
- 太田貴博(桧原)
- 太田大(桧原)
- 渡辺幸吉(板屋越)
- 佐藤勝美(板屋越)
- 増子隆善(板屋越)
- 高橋嘉世(板屋越)

- 10月7日(金) ■ 第1回準備会
委員34名による準備会がスタート
- 9月26日(月) ■ 準備委員代表者打合せ
集落代表準備委員(9名)と準備会に向けた事前協議
- 9月2日(金) ■ 第4回発起人会
準備会の規約、スケジュール案を検討、準備委員を決定
- 8月3日(水) ■ 第3回発起人会
準備会の役割、準備委員の選出方法(区長推薦)を確認
- 7月15日(金) ■ まちづくり説明会
猿沢地域の住民を対象に「地域の元気づくり」の考え方を説明(参加者63名)
- 6月22日(水) ■ 第2回発起人会
市担当職員による集落聞き取り調査報告、地域説明会の打合せ
- 5月31日(水) ■ 第1回発起人会
まちづくり組織設立に向けた話し合いを始める
- 猿沢地域では、各集落の区長さんが発起人となり、まちづくり協議会設立に向け、協議を重ねてきました。これまでの経緯は次の通りです。

準備会発足までの経緯 と発起人会の取り組み

準備会のスケジュール

種類	日時会場	内容
第1回 (終了)	日時■10月7日(金) 午後7時~ 会場■文化会館	◆全体会議 規約、スケジュール、役員選出
第2回 (終了)	日時■10月26日(水) 午後7時~ 会場■朝日支所	◆懇談会(1回目) 「住民主体で取り組むまちづくりの目的(理念)」
第3回 (終了)	日時■11月15日(火) 午後7時~ 会場■朝日支所	◆懇談会(2回目) 「猿沢地域のよいところ、気になるところ」
第4回 (終了)	日時■11月30日(水) 午後7時~ 会場■朝日支所	◆懇談会(3回目) 「わたしが目指す地域の将来像」
第5回	日時■12月14日(水) 午後7時~ 会場■朝日支所	◆懇談会(4回目) 「将来像を実現するための具体策」
第6回	日時■1月 日() 午後 時~ 会場■朝日支所	◆懇談会(5回目) 具体策を実現するための「推進体制」「事業計画」「予算」(案)の検討
第7回	日時■2月 日() 午後 時~ 会場■朝日支所	◆懇談会(6回目) 総会に向けた「まちづくり計画」「協議会の組織体制」「事業計画」「役員」案の決定
総会	日時■3月 日() 午後 時~ 会場■	◆設立総会 総会で承認を受ける。 ※終了後、市へ設置届けを提出



準備会の会長に選任された
佐藤和衛さん(鵜渡路)

■発行
猿沢地域まちづくり協議会設立準備会

会長 佐藤和衛

■事務局

〒958-0251 村上市岩沢5611番地
村上市朝日支所 地域振興課
自治振興室(担当: 玉木善行)

■電話: 72-6880 FAX: 72-6403

■E-mail: as.shinko-chi iki@city.murakami.lg.jp



市民協働のまちづくりロゴ
「パートナー」

第2回 準備会

まちづくりの目的(理念)について意見交換

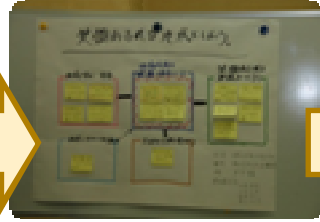
10月26日(水)午後7時から、朝日支所第1会議室にて「第2回まちづくり準備会」を開き、ワークショップ形式による懇談会を行ないました。今回のテーマである「猿沢地域をどのような地域にしたいか」について、4~5人のグループに分かれ、それぞれの意見を出し合いました。



まずは誕生日の順でグループを決め、テーブルに分かれて自己紹介



それぞれの意見をカードに書き、模造紙に貼って分類



分類した項目にタイトルを付け、さらにグループの理念を集約し、



最後にグループでまとめた意見を発表しました。

- | | | | |
|----|---------------------|----|--------------------------|
| 1班 | 日東道を活かした観光農園の地域にしたい | 4班 | 若い人が中心になって活気のあるまちづくり |
| 2班 | イベントを行って地域交流を深める | 5班 | 地域内外の交流の場をつくり地域の宝物を活かしたい |
| 3班 | 笑顔あふれる地域にしよう | 6班 | 人が住みたくなるような明るい地域にしたい |

参加したみなさんの感想



元気づくりの方向性がどんな風に決まていくのか、この先が楽しみです



ほかの集落の人と意見を交わしてとてもよかった

年齢の違うみんなと話し合えることが出来てよかった

自分が住んでいる地域のことをこんなに考えた事がなかったので良かった

以外にこうしたいという考えが浮かばず残念だった

初めてということもあり、思ったような意見を書けなかった

子供からお年寄りまでだれでも参加できることを考えていることが分かりました

少人数のワークショップは、自分の意見を言いやすいので、とても楽しく参加出来ました



参加した人たちは似たような思い、同じような気持ちあってホッとしました



①「まちづくりの目的(理念)」を確認

11月15日(火)午後7時から、朝日支所第1会議室にて「第3回まちづくり準備会」を開きました。今回の内容は、前回の懇談会で意見交換をした「まちづくりの目的(理念)」の確認と、ワークショップ形式による2回目の懇談会です。

はじめに、まちづくりの目的(理念)を確認しました。前回の懇談会で出された121の意見を14項目に分け、次に大きく4つの項目にまとめ、さらにポイントを絞り込み、ひとつにまとめた結果が下のイメージ図です。

猿沢地域の「まちづくりの目的(理念)」

交流機会をたくさん生み出し、
笑顔あふれる元気な地域にしたい

《交流》

集落行事やスポーツ活動により、世代を超えた交流のある地域にしたい

《コミュニケーション》

誰とでも挨拶や言葉を交わし、互いに尊重しあえる地域をつくりたい

《観光》

高速道路と道の駅を利用して賑わいのある地域にしたい

《イベント》

住民が楽しめるイベントを開催し、交流を盛んにしたい



子供からお年寄りまで、安心して
住み続けられる地域にしたい

《安心安全》

住民同士が支えあい、安心して暮らせる地域にしたい

《定住》

若者が住み続けたいと思える魅力的な地域にしたい

《健康》

子供からお年寄りが健康で、元気に暮らせる地域にしたい



豊かな環境を守り、
みんなの生きがいを生み出す
活力ある地域を創る

畑や里山を活かして事業展開を図り、
多くの人にアピールしたい

《農業振興》

積極的に農業の振興を図りたい

《情報発信》

猿沢地域の魅力を多くの人に知ってもらいたい

《ビジネス》

地域資源を活用し、新しい事業を生み出したい



人の心を育て、環境や伝統文化を
大切にしたい美しい地域をつくりたい

《歴史伝統》

地域の歴史や伝統文化を活かした地域づくりがしたい

《環境》

花と人の心を育て、ゴミのない美しい景観をつくりたい

《健全育成》

心身ともに健康で豊かな人を育む教育を行いたい

《自然》

自然環境を保全し、蛍の住む清らかな川を取り戻したい

これからは「豊かな環境を守り、みんなの生きがいを生み出す活力ある地域を創る」を目標とし、地域の元気づくりを考えて行きます。



②猿沢地域は今どのような状況なのか

続いて、ワークショップ形式による2回目の懇談会を行ないました。今回のテーマは「猿沢地域のよいところ、気になるところ」です。今、猿沢地域がどのような状況なのかを、事実に基づいて書き出しました。よいところが95、気になるところが62、全部で157の意見が出されました。



同じアメ玉を選んだ人でグループをつくり、テーブルに分かれて自己紹介



みなさんが日ごろ感じていることをカードに書き、分類して集約



それぞれグループごとにまとめた意見を発表しました。



最後に発表者以外の人から感想をのべてもらいました。(前回もそうでした)



よいところ

猿沢地域の現状

気になるところ



災害などなく住みやすい

みどりの里には他所から多くの人が集まりとてもにぎやかである

道の駅、温泉、高速道路のインターチェンジがあり利便性が良い

集落ごとによる共同作業や助け合いの仕組みがある

野菜直売所があり、みんな笑顔で出荷している

地域全体の敬老会をしてもらってとてもうれしい

都会と違いとなり近所との交流がある

道路脇に花が植えられていて、車で通ると気持ちがいい

山では山菜、川ではマス・アユ・サケが獲れる

集落に歴史があり、行事や伝統が引き継がれている

郷土史の調査をして、後世に伝承している集落がある

問題点は多いと思うが、良いところを伸ばしていくことで、少しでも地域が元気になると思う。

よいところ悪いところをみんなで話し合うと、方向性が見えて来た気がする。

国道7号線の交通量が増え、横断が心配である

食料品を売っているところが近くになく、高齢者が住みにくい

働く場所がなく、若者が少なく集落の将来が心配だ

農業を引き継ぐ人がいない

空き家が増えている

一人暮らしの世帯が多くなった

同じ集落でもあいさつがなっていない

子供がいない、婿(嫁)さんがいない

豚舎や鶏舎からのニオイが気なる

若い人たちが集落の行事に参加してくれない

名所や旧跡の良さを知らない人が多い



編集後記

◆準備委員は、集落や年齢も違えば考え方も違い、旧知の仲だったり、初対面だったりします。全員の共通点をあげるとすれば、これからは先も猿沢地域に住み続け、同じ未来を生きたいことです。◆以前は、地域の人から「協働のまちづくりって何をすればいいの？」とよく聞かれましたが、最近はその声も減ってきた。◆準備委員って何をやるの？という具合に変わってきました。◆準備委員の活動開始から2ヶ月過ぎようとしています。◆準備委員の活動開始から2ヶ月過ぎようとしていますが、ようやくまちづくり通信第2号を発行することが出来ました。今後、読みやすさと、写真をたくさん使うことを心掛けて、みなさんにお知らせして行きたいと思っています。

